

# 介護施設等における防災リーダー研修

リスクマネジメントオフィス梅田（防災士）

梅田浩史

# 1. BCPと防災

2.防災リーダーの役割

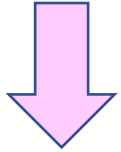
3.自施設の災害リスクの把握

4.被害想定

5.事前の防災対策・災害発生時の対応

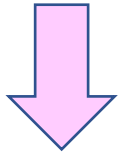
## 1-1). 災害等の危機に対応するために

「災害にあうと、何が起きるか？」



「何が起きるか」を想像できないと、うまく対応できない！

「その時、何をしなければならないか？」



当面の対応だけでなく、危機が去るまでの事を考えよう！

「その時、迷わず『すべき事』ができるか？」

事前の準備なしに、うまく対応できるか？  
うまくできないのであれば、必要な準備をしておきましょう！

## 1-2). 業務継続計画(BCP)とは？

従来の防災計画に「業務継続」の考え方を導入する。  
(業務<サービス>を早期に復旧・継続させるための考え方)



Business Continuity Plan(BCP)＝業務継続計画

BCPとは、災害や事故などの緊急事態が発生した場合でも、  
早期に業務を復旧・継続させるための計画



# 1-3). BCPと防災計画の違い

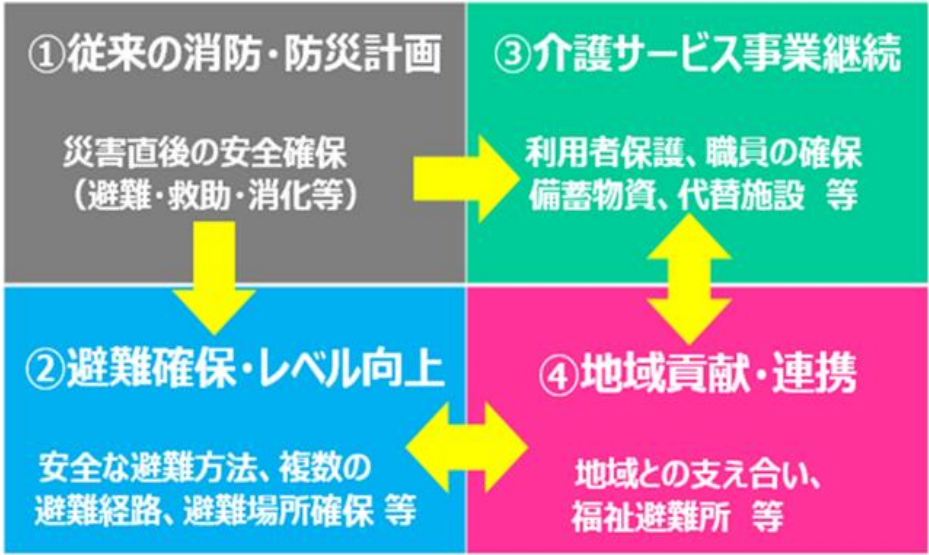
防災計画と自然災害 BCP の違い①

|            | 防災計画                                                                                        | BCP                                                                                                        |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主な目的       | ・身体、生命の安全確保<br>・物的被害の軽減                                                                     | ・身体、生命の安全確保に加え、<br>優先的に継続、復旧すべき重要業務<br>の継続または早期復旧                                                          |
| 考慮すべき事象    | ・拠点がある地域で発生することが<br>想定される災害                                                                 | ・自社の事業中断の原因となり得る<br>あらゆる発生事象                                                                               |
| 重要視される事象   | ・以下を最小限にすること<br>➢ 「死傷者数」<br>➢ 「損害額」<br>・従業員等の安否を確認し、被害者を<br>救助・支援すること<br>・被害を受けた拠点を早期復旧すること | ・左記に加え、以下を含む<br>➢ 重要業務の目標復旧期間・目標<br>復旧レベルを達成すること<br>➢ 経営及び利害関係者への影響を<br>許容範囲内に抑えること<br>➢ 利益を確保し企業として生き残ること |
| 活動、対策の検討範囲 | ・自社の拠点ごと                                                                                    | ・全社的（拠点横断的）<br>・依存関係にある主体<br>（委託先、調達先、供給先）                                                                 |

出典：（厚生労働省老健局）介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン

従来の防災計画に、避難確保、介護事業の継続、地域貢献を加えて、総合的に考えることが重要

## 福祉防災計画



出典：（一社）福祉防災コミュニティ協会の作成を一部修正

福祉防災計画＝

①消防・防災計画

＋ ②避難確保計画

＋ ③ BCP

＋ ④福祉避難所計画



これまでの防災計画・対策が基礎となる

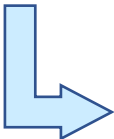
1-4).災害の特徴一覧

災害の特徴一覧

|            | 風水害                  | 地震                  | 感染症                                  |
|------------|----------------------|---------------------|--------------------------------------|
| 主な被害対象     | すべての経営資源             | すべての経営資源            | ヒト、財務                                |
| 影響発生までの時間軸 | ～数日                  | ～数秒                 | ～1・2ヶ月                               |
| 影響範囲       | 国内（局所）               | 国内（広域）              | 全世界                                  |
| 二次災害       | －                    | 火災、津波、倒壊、余震         | －                                    |
| 復旧までの環境変化  | 小                    | 小                   | 大                                    |
| 社会全体の活動    | 局所的に活動が止まること<br>がある。 | 被災地では、社会活動が<br>止まる。 | 制約あるものの活動している。<br>影響は長期化すること<br>がある。 |

この時間を使って、  
対応の準備をする  
（タイムライン）

事業所にサービスの提供（継続）を期待（要求）される



BCPの考え方を導入！

2020 リスクマネジメントオフィス梅田より

1. BCPと防災

2. 防災リーダーの役割

3. 自施設の災害リスクの把握

4. 被害想定

5. 事前の防災対策・災害発生時の対応

## 2-1).防災リーダーの役割

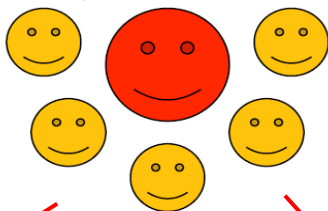
### 施設の防災リーダーの役割

#### 平常時

平常時から、リーダーとして自施設で中心となり活動することで…

防災を学ぶ（防災研修等の受講）

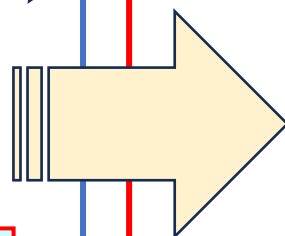
他の職員や利用者に防災の知識を伝え、防災力を向上させる



防災活動に、現場担当者等を巻き込む

訓練を通じて、課題を発見し、対策を立案する

災害発生



#### 災害時

災害時、職員の先頭に立って、自施設の防災活動を主導していくことができる

<災害時対応をする>

- ・安全確保
- ・二次災害防止
- ・救護
- ・初期消火
- ・安否確認
- ・避難誘導 等

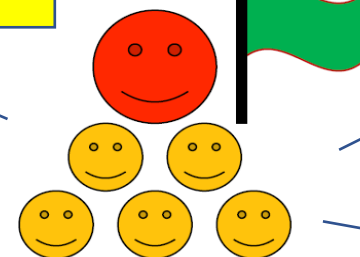
自分の身は自分で守る（自助）

様々な突発的な事象に対応する

様々な指示や判断をする（安全確保の判断等）

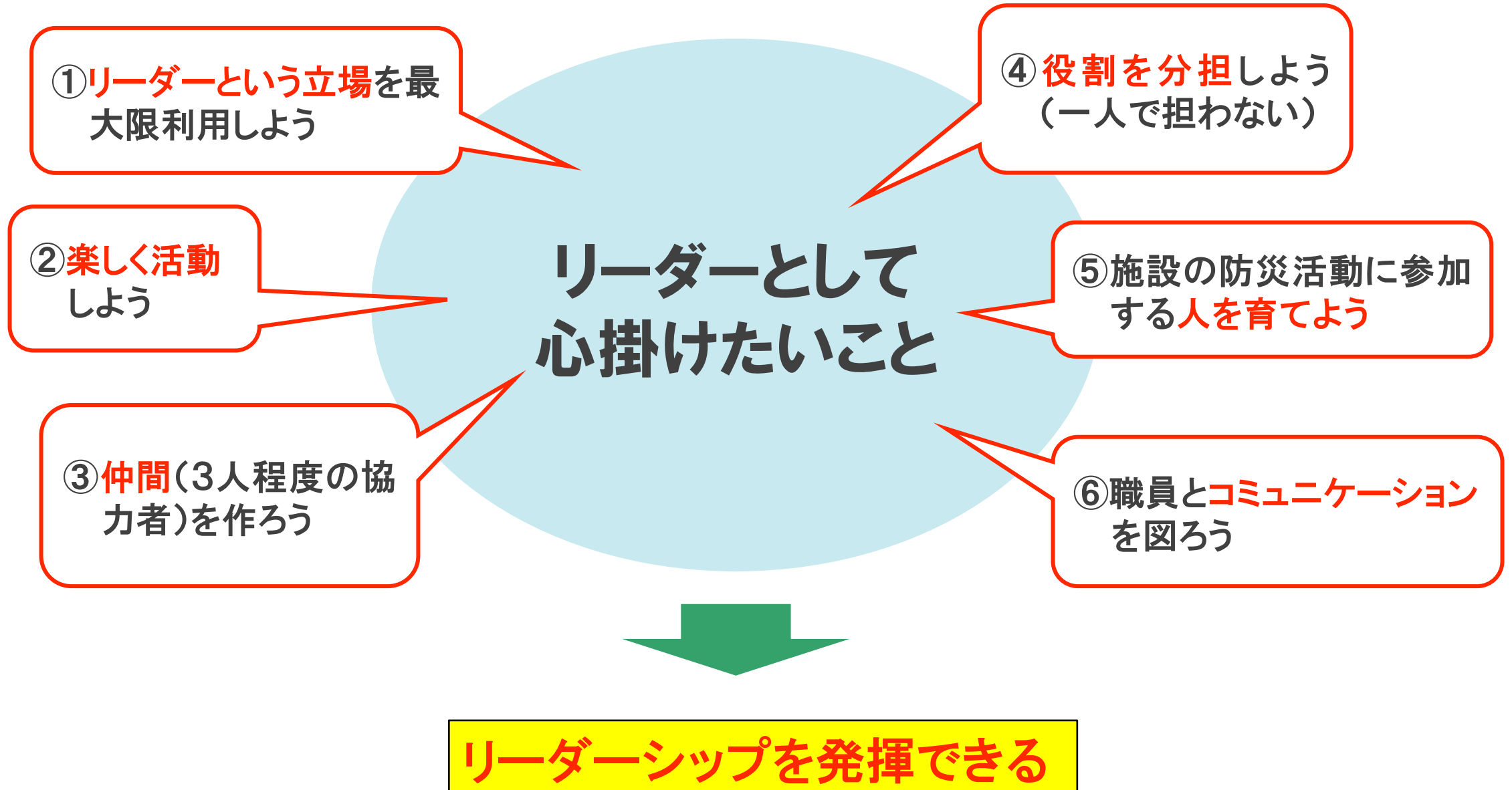
緊急時組織の司令塔になる

緊急時対応の役割分担をする



周辺地域の施設や住民と互いに協力しあう（共助）

## 2-2).リーダーとしての心掛け



# 平時から研修・訓練を通して防災力を向上させる

### 「災害にあうと、何が起きるか？」

- ①「自施設で、地震が発生したら、どんなことがおこるか？」を話し合う
  - <1>施設の中でどんなことが起こるか話し合う。
  - <2>その時、何をすべきか話し合う。
  - <3>迷わずに対応するためには、どんなツールがあったらいいか話し合う。
  - <4>対策について、役割分担をして、何時までに作成するかを決める。  
⇒これをマニュアルに反映する。



### 「その時、何をしなければならないか？」

- ②クイズ型訓練
  - <1>入浴介助の時に地震が起きたら、どう対応しますか？
  - <2>地震でトイレの水洗が使えなくなったらどうしますか？
  - <3>エレベーターが使えない時、全入居者への食事の提供はどうしますか？

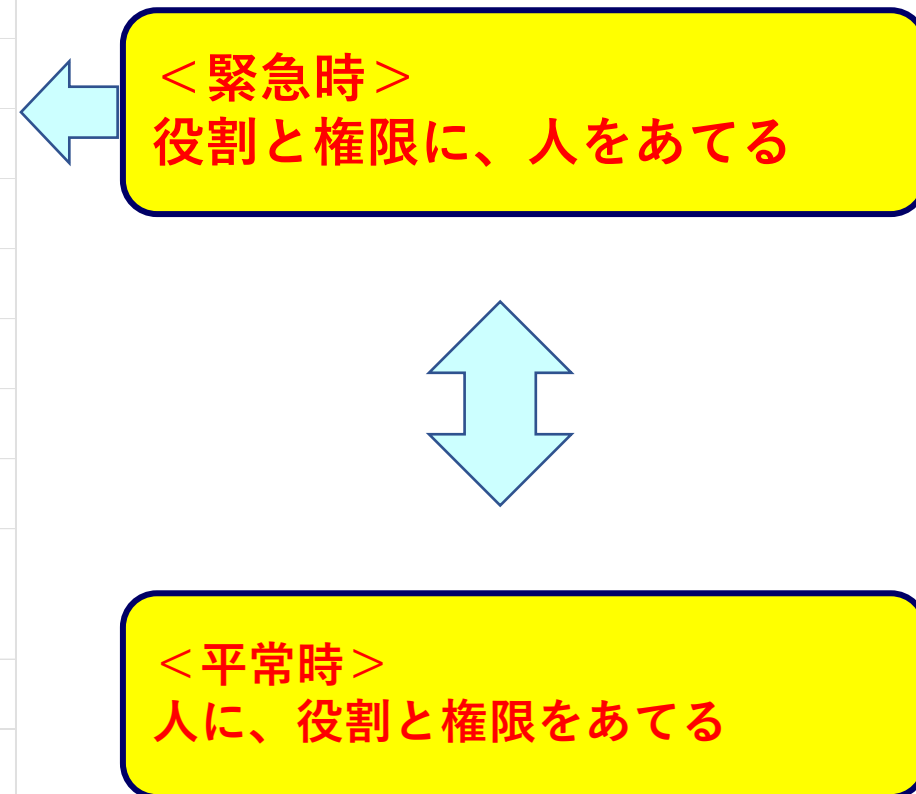
### 「その時、迷わず『すべき事』ができるか？」

- ③実動訓練
  - <1>避難訓練
  - <2>消火訓練
  - <3>対策本部設置訓練



## 2-4).災害時の役割（役割分担サンプル）

| 発災時役割分担表 |                   |      |
|----------|-------------------|------|
| No.      | 役割項目              | 担当者名 |
| 1        | 館内放送              |      |
| 2        | 対策本部設置            |      |
| 3        | 安否被害確認シート貼り付け     |      |
| 4        | 職員の安否確認           |      |
| 5        | 入居者の安否確認          |      |
| 6        | 調理場の安全確認          |      |
| 7        | エレベーター閉じ込め確認      |      |
| 8        | 建物被害確認            |      |
| 9        | 火災対応（通報・消火・避難）フロー |      |
| 10       | 転倒者対応処置フロー        |      |
| 11       | 割れたガラスの取り扱い       |      |
| 12       | ガラスによる切り傷の応急手当フロー |      |



1. BCPと防災

2.防災リーダーの役割

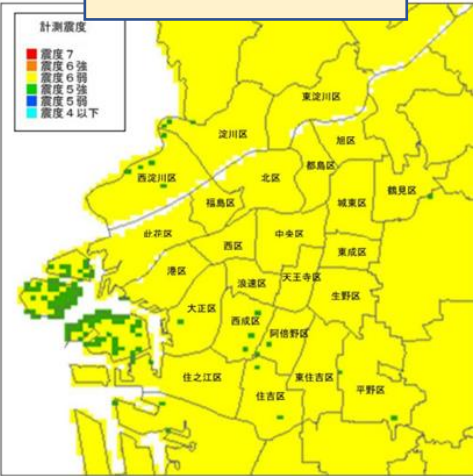
3.自施設の災害リスクの把握

4.被害想定

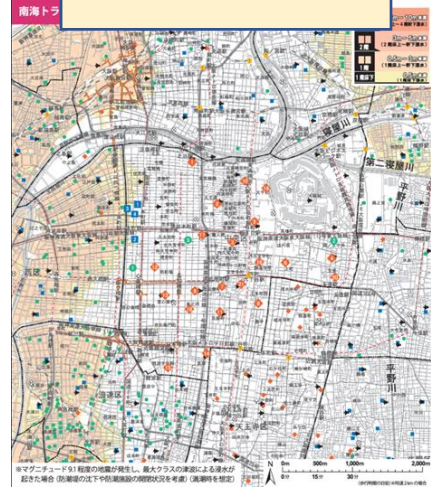
5.事前の防災対策・災害発生時の対応

### 3-1).自施設の災害リスクを把握する

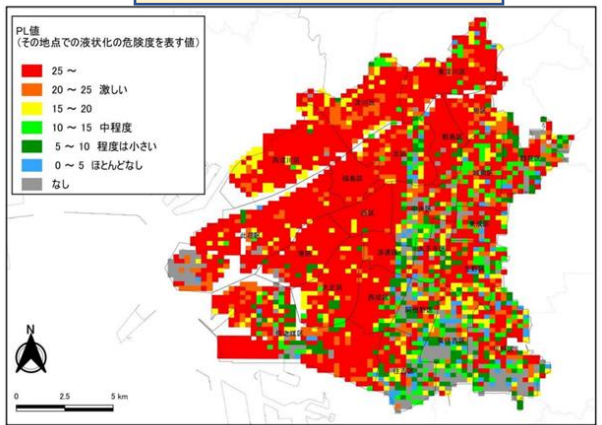
地震（震度）



地震（津波）

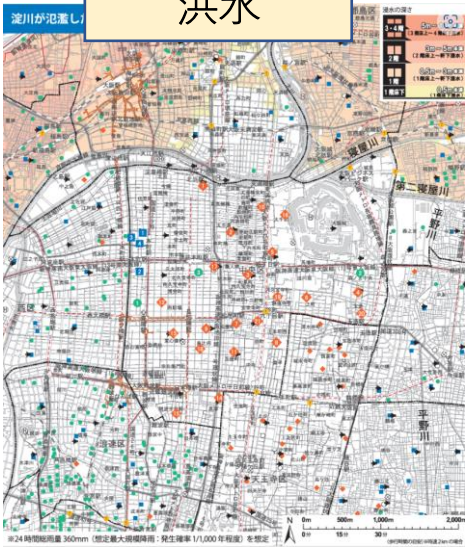


地震（液状化）



(出典：大阪府 南海トラフ巨大地震による震度分布・液状化可能性の詳細図)

洪水

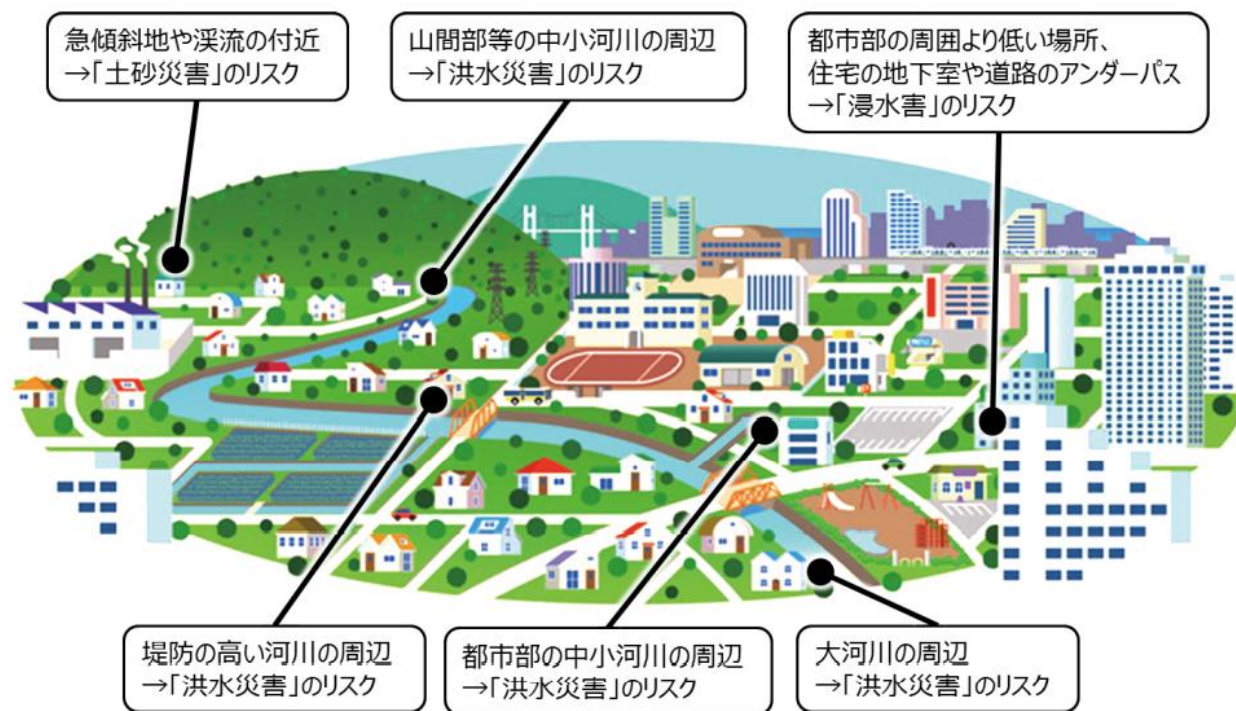


### 3-2).自施設のある地域の自然条件（気候・地勢）や特性を理解する

1)雨の多い地域・少ない地域（危険な雨量：＜一般的には80mm/時・400mm/日＞は地域によって違う。）

2)川がある（洪水や内水氾濫のリスクがある）

3)山がある（土砂災害のリスクがある）



大雨により視界が悪く、また、浸水した道路では側溝の境界が見えにくくなります。  
川や田んぼを見に行き流される事故も発生しています。

「大雨や台風に備えて」気象庁より

1. BCPと防災

2.防災リーダーの役割

3.自施設の災害リスクの把握

4.被害想定

5.事前の防災対策・災害発生時の対応

< インフラ等の被害 >

想定被害状況リスト (H26.1.24付けの南海トラフ地震被害想定：中央防災会議参照)

| 項目 |                                                                                 | 想定被害内容                                                                   |
|----|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 電気 |                                                                                 | 発災後3日間の停電、電柱被害区域では、7～14日間の停電<br>(照明・空調・IT機器・警備施設等使用不可)<br>(停電によるITデータ損失) |
| 水道 |                                                                                 | 発災後7日間の断水<br>(飲料水の使用不可・水洗トイレの使用不可)                                       |
| ガス |                                                                                 | 発災後4週間程度の供給停止                                                            |
| 通信 | 固定電話                                                                            | 通話規制により5日間程度つながらない                                                       |
|    | インターネット                                                                         | 停電のため3日間是使用できない                                                          |
|    | 携帯（通話）                                                                          | 通話規制により5日間程度つながらない                                                       |
|    | 構内電話                                                                            | 内蔵バッテリーにて使用可（3時間？）                                                       |
|    | ナースコール                                                                          | 外付けバッテリーにて使用可（4時間？）                                                      |
|    | 非常放送設備                                                                          | 内蔵バッテリーにて使用可（10分？）                                                       |
| 道路 | 携帯（メール）                                                                         | 当日は輻輳するが、翌日から使用可能                                                        |
|    | 高速道路は2週間程度の通行止め<br>幹線道路は緊急車両以外の通行止め（1週間程度）<br>その他の道路は渋滞の発生により、通常時より2～3倍の所要時間が必要 |                                                                          |
|    | 鉄道                                                                              |                                                                          |
| 物流 |                                                                                 | 3日間の運行停止。その後順次運行再開<震度4以上で安全確認のため運転見合わせ>                                  |
| 燃料 |                                                                                 | 緊急物資輸送以外の輸送は困難（2週間程度）                                                    |
|    |                                                                                 | 2週間程度の不足（ガソリン・発電機用燃料等）                                                   |

< 室内の被害 >

| 項目   |         | 想定被害内容                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 従業員  |         | 一部負傷者発生<br>公共交通機関の麻痺や家族の負傷により出社不可<br>(当初2日間●割、3日後●割、5日後●割が出社できず)<br>帰宅困難者の発生                                                                                                                                                                             |
| モノ   | 施設・建物   | 耐震性の低い建物の倒壊、損傷<br>屋上施設の転倒破損(アンカーボルトの破損)<br>非構造部材(壁面壁の剥離・窓ガラス等の破損・天井の落下・間仕切り・照明器具・空調機器・(接続)配管・配線・ケーブルラック・受水槽等)の損壊<br>エレベーター・リフトの閉じ込め発生<br>二次災害(火事・爆発・ケガ等)の発生<化学薬品・危険物施設・ガス漏えいによる出火><br>部屋の備品(家具類・ロッカー・書棚・コインロッカー・ガラス等)の破損・倒壊<br>天井材・額・照明器具の落下<br>ブロック塀の転倒 |
|      | 設備      | 固定していない設備（倉庫の部品棚・家具・テレビ・パソコン・プリンター・コピー機等）の転倒、移動<br>部屋の備品(ロッカー・書棚・コインロッカー・ガラス等)の破損・倒壊<br>自動販売機の転倒<br>ファイル・書籍の散乱                                                                                                                                           |
|      | スプリンクラー | 非常用発電機で稼働（3時間？）                                                                                                                                                                                                                                          |
|      | 情報システム  | 固定していないサーバ、基幹システムの転倒、損傷<br>パソコンが損壊して、バックアップのないデータが喪失                                                                                                                                                                                                     |
| 資金   |         | 事業停止期間の収益の減少（営業ができなくなり、収入がなくなる。）<br>従業員の給料や仕入れや経費の支払いは停止できない。<br>修繕・再調達費用の発生（修理や復旧のための臨時費用が必要になる。）                                                                                                                                                       |
| 取引先等 |         | 近隣の取引先の同時被災（仕入品の調達困難・顧客からの発注減少）                                                                                                                                                                                                                          |



土砂災害

写真:総務省消防庁ホームページ



液状化

写真:総務省消防庁ホームページ



家具や物が散乱

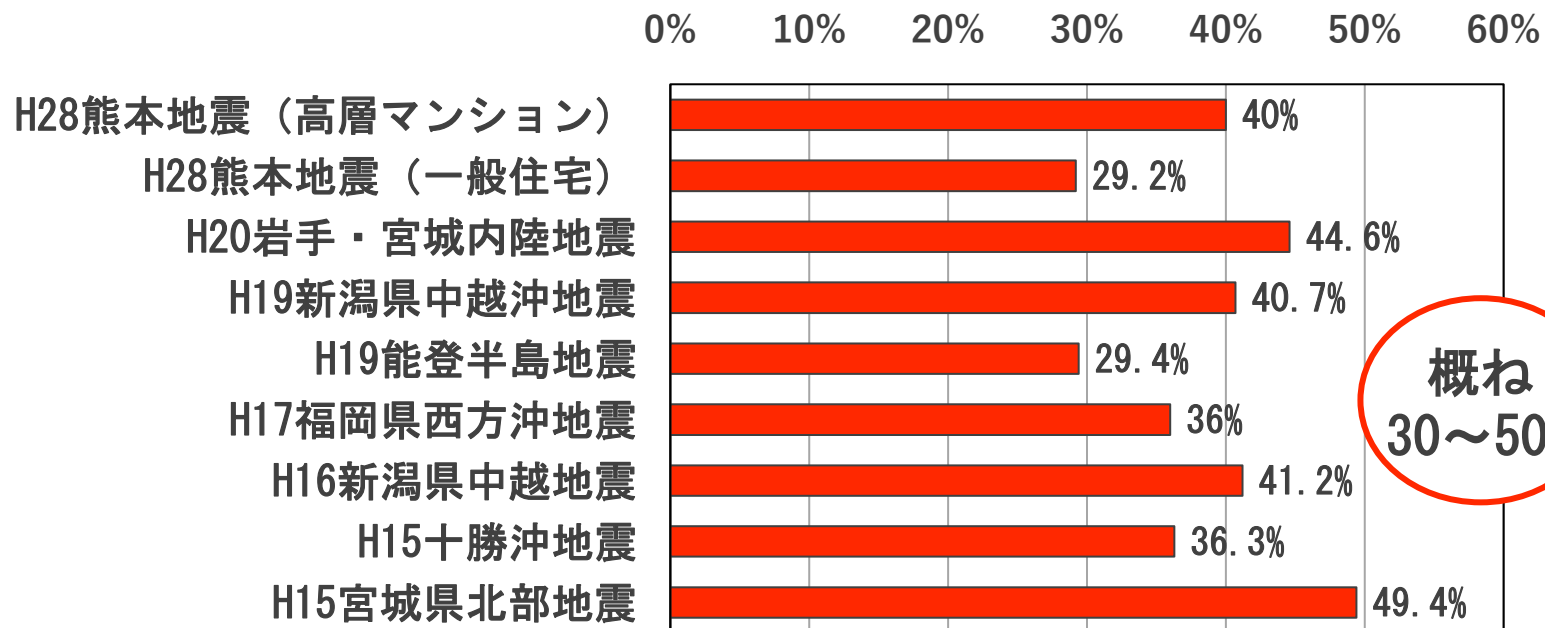


ブロック塀の倒壊

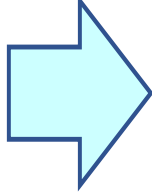
# 家具類の転倒・落下・移動による被害

地震でけがをした人のうち、約30～50%が、家具等の転倒・落下・移動を原因としている

近年発生した地震においてけがをした人のうち、  
家具類の転倒・落下・移動を原因とするけが人の割合



#### 4-3). 台風で、どんな被害が出るか？

| 台風の脅威  |                                                                                   | 被害の例                                                                           |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 強風（竜巻） |                                                                                   | 建物の損壊（倒壊・人的被害）<br>屋根瓦や看板の飛散・落下（窓ガラス損壊・人的被害）<br>立木・電柱の倒壊                        |
| 大雨     |  | 河川の氾濫（堤防の決壊・越流）<br>浸水害<br>土砂災害（ガケ崩れ・土石流・地すべり）<br>交通障害（鉄道の運休）<br>停電・断水<br>電話の不通 |

1. BCPと防災

2.防災リーダーの役割

3.自施設の災害リスクの把握

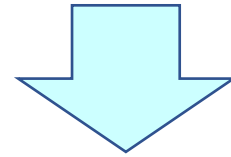
4.被害想定

5.事前の防災対策・災害発生時の対応

## 5-1). 地震（事前の対応）

| 2. 平常時の対応                                                |
|----------------------------------------------------------|
| (1)建物・設備の安全対策<br>①人が常駐する場所の耐震措置<br>②設備の耐震措置<br>③水害対策     |
| (2)電気が止まった場合の対策<br>①自家発電機が設置されていない場合<br>②自家発電機が設置されている場合 |
| (3)ガスが止まった場合の対策                                          |
| (4)水道が止まった場合の対策<br>①飲料水<br>②生活用水                         |
| (5)通信が麻痺した場合の対策                                          |
| (6)システムが停止した場合の対策                                        |
| (7)衛生面(トイレ等)の対策<br>①トイレ対策<br>②汚物対策                       |
| (8)必要品の備品<br>①在庫量、必要量の確認                                 |
| (9)賃金手当て                                                 |

事前の準備なしに、災害発生時に、  
うまく対応できるか？  
うまくできないのであれば、必要な準備を  
やっておきましょう！



利用者様や職員の安全確保や安否確認、  
避難誘導、重要サービスの継続等  
手順書の準備や訓練等が必要なら  
事前に準備しておきましょう！

## 5-2). 地震（災害時の対応）

災害時対応業務一覧表

| No. | 実施<br>タイミング | 活動項目                                     |
|-----|-------------|------------------------------------------|
| 1   | 発災直後        | 各人の安全確保とまわりへの声かけ                         |
| 2   |             | 入所者への情報提供(館内放送)                          |
| 3   |             | 二次災害防止（火器停止・初期消火・通報）                     |
| 4   |             | 応急救護                                     |
| 5   | 発災当日        | 災害対策本部の設置（電源等必要資材の準備）                    |
| 6   |             | BCP発動宣言（緊急時体制への変更）                       |
| 7   |             | 職員・家族の安否確認（報告・集計）                        |
| 8   |             | 入居者の安否確認                                 |
| 9   |             | 職員の拠点確保                                  |
| 10  |             | 職員の招集、確保                                 |
| 11  |             | 利用者家族、行政、法人本部等への連絡                       |
| 12  |             | 災害情報収集（情報入手ツールの確保含む）                     |
| 13  |             | 施設・設備被害状況確認（自施設・仕入れ先等）                   |
| 14  |             | エレベーター閉じ込め者の救出                           |
| 15  |             | 避難判断・避難決心・避難誘導                           |
| 16  |             | 被害施設・設備の応急復旧                             |
| 17  |             | 通信手段の確保（情報連絡体制の確立）                       |
| 18  |             | 情報システムの復旧                                |
| 19  |             | インフラ対策(自家発電、トイレ対策、防寒・避暑対策)               |
| 20  |             | 食事の手配（備蓄品の確保含む）                          |
| 21  |             | 情報発信                                     |
| 22  |             | 近隣対応（地域ニーズへの対応・要援護者の受け入れ・一時入所及び利用者増員の対応） |
| 23  | 翌日<br>～3日後  | 職員の健康管理                                  |
| 24  |             | 重要業務の継続                                  |
| 25  |             | ボランティアの受け入れ                              |
| 26  |             | 問合せ対応                                    |
| 27  |             | 衛生管理                                     |
| 28  |             | 通勤・帰宅困難体制の確立                             |
| 29  |             | 福祉避難所の開設                                 |
| 30  |             | 業界団体・他施設等・地域との連携                         |
| 31  | 4日後～        | 職員の健康管理、ローテーション管理                        |
| 32  |             | 情報システムの復旧                                |
| 33  |             | 必要物資の調達、支援物資の受け入れ                        |
| 34  |             | 被害箇所の復旧                                  |
| 35  |             | 計画停電への対応                                 |
| 36  |             | 行政、関係団体、法人本部などとの情報共有、調整                  |

身の安全確保と二次災害防止

緊急体制（災害対策本部）による  
対応

重要業務（サービス）の継続  
復旧対応  
＜福祉避難所の開設＞

### 5-3). 台風が来たら、何をすべきか？

どんな台風がどこに来るか！

- ①台風は、どんな規模で、どこに来るのか？
- ②雨は、危険な雨か？
- ③暴風は、危険か？（被害を出さないか？）
- ④土砂災害の危険はないか？
- ⑤川は氾濫しないか？

台風の接近前に備える！

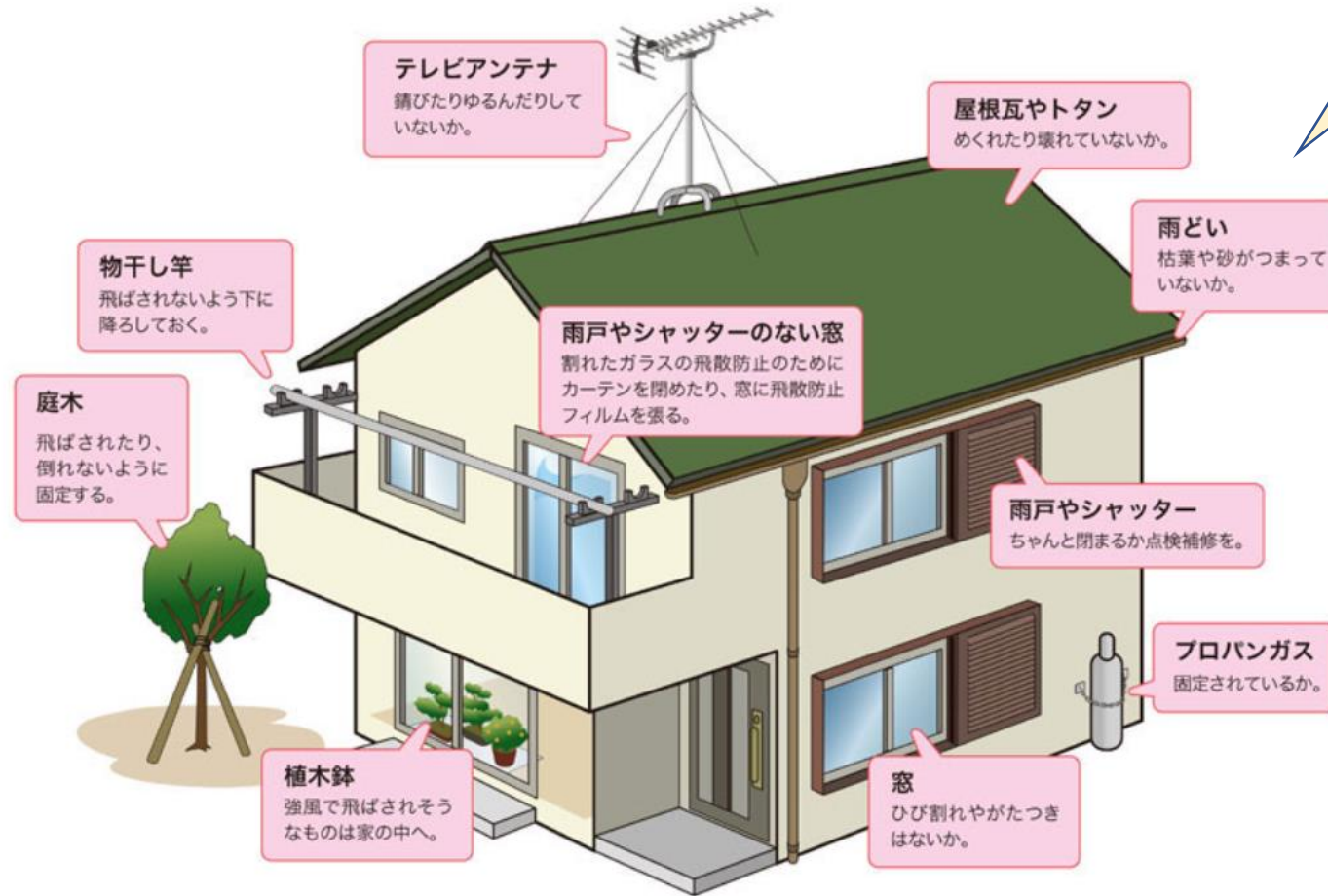
「避難」とは「難」を「避」け、安全を確保することです。**安全な場所にいる人まで避難する必要はありません。**

何も起きていないうちに逃げる！  
（冠水した足元は危険）  
（流れている水の中は危険）

| ステップ   | 具体的行動                                                  |
|--------|--------------------------------------------------------|
| 情報収集   | 1)自分の地域に、何が起きるか？                                       |
|        | ①テレビ・ラジオ・パソコン・スマホ等で、気象情報の細やかな確認<br>（注意報・警報及び避難情報を入手）   |
|        | ・気象庁：市町の防災情報・キキクル                                      |
|        | ・国土交通省：川の防災情報（水位情報・ライブカメラ）                             |
|        | ・ICT：ライブカメラ                                            |
| 台風に備える | 1)自宅のある場所の危険度・避難所の場所を確認<br>（ハザードマップ・浸水ナビ＜国土交通省アプリ＞で確認） |
|        | 2)家の周りの備え                                              |
|        | ①屋根・壁外回りの点検                                            |
|        | ②窓・雨戸の補強（強風でもものが飛んでくる）                                 |
|        | ③排水溝の掃除（排水があふれる恐れ）                                     |
|        | 3)停電・断水への備え                                            |
|        | ①食料・水の準備（3日分程度）                                        |
|        | ②懐中電灯（室内用・避難時用）・ラジオやスマホのバッテリー                          |
|        | 4)避難の準備（どこへ・どんな風に・誰と避難するか）                             |
|        | ①複数の避難場所の選定（避難所・親戚知人宅・ホテル等）                            |
|        | ②避難経路・避難場所までの移動時間の確認（実際に行ってみる）                         |
|        | ③非常持出品（袋）の準備＜不足なら買い増し＞                                 |
| 避難する   | ④避難時の服装（ヘルメットか帽子・レインコート・手袋・ひもで縛れる靴・リュック＜両手を開ける＞）       |
|        | ⑤ガソリン給油                                                |
|        | 1)雨風がひどくならないうちに避難する                                    |
|        | 2)明るいうちに避難する                                           |
|        | 3)自宅の戸締り・ブレーカーを落とす（停電→通電時の火災防止）                        |
|        | 4)近所への声掛け                                              |
|        | 5)状況によっては、長期の避難も覚悟する（停電・浸水の影響が長引く）                     |

## 5-4). 風水害（家の外の備え）

〈風が強まる前の家の対策〉



家の外の対策を載せてあります



写真：江戸川区ホームページ



写真：千葉市ホームページ

側溝、排水溝は掃除しておく。

## 5-5). 風水害での対応

- ①「自分（と家族）の身は、自分で守る！」
- ②台風の際は、できるだけ家にいる。  
（自宅が安全であることが条件）
- ③どんな場合に、何をキッカケに避難するか、決めておく。
- ④どんな場合に、避難しないか、決めておく。
  - ・避難し遅れたら、垂直避難。
  - ・大雨で、道路の水が流れていたら危険（避難したら危険！）



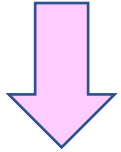
平常時（事前準備）、3日前、注意報・警報・避難指示が出た時、どう行動するかを決めておく



**文章にして残しておく（マイタイムライン）**

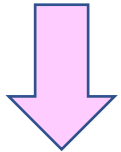
## 5-6). まとめ

「災害にあうと、何が起きるか？」



「何が起きるか」を想像できないと、うまく対応できない！

「その時、何をしなければならないか？」



当面の対応だけでなく、危機が去るまでの事を考えよう！

「その時、迷わず『すべき事』ができるか？」

事前の準備なしに、うまく対応できるか？  
うまくできないのであれば、必要な準備をしておきましょう！